



たすっぴん
参加費無料
事前予約不要

死刑制度を考える

～映画「死刑弁護人」をみて～

2019年

2月

9日

土

13:30-16:30 (開場 13:00)



岡山弁護士会館 2階大会議室

(岡山市北区南方1-8-29)

※岡山弁護士会には駐車場がありませんので、近隣のコインパーキングか公共交通機関をご利用下さい。

第1部 映画上映 **死刑弁護人**

制作・著作・配給＝東海テレビ放送
2012年 | 97分 | HD | 16:9 | 日本 | ドキュメンタリー

第2部 基調講演 「死刑事件弁護」



© 東海テレビ放送

映画 **死刑弁護人** 第46回文化庁芸術祭
テレビ・ドキュメンタリー部門優秀賞受賞

「オウム真理教事件」麻原彰晃, 「和歌山毒カレー事件」林真須美, 「名古屋女子大生誘拐事件」木村修治, 「光市母子殺害事件」元少年, これら死刑事件の刑事弁護を担当した安田好弘弁護士のドキュメンタリー。「事実を出して初めて本当の反省と贖罪が生まれる。どうしても同じことを繰り返さずに済むのか、それには、まず真実を究明しなければならない」。安田弁護士の見た、マスコミや検察の情報にない真実とは何なのか。

講師：安田好弘弁護士

1947年生まれ。一橋大学法学部卒業。弁護士。死刑廃止運動への貢献が認められ、1999年多田遥子反権力人権賞受賞。新宿西口バス放火殺人事件など死刑事件の弁護を担当している。著書に『「生きる」という権利 麻原彰晃主任弁護人の手記』(講談社)など。

